

支え合いのまちづくり サミットIN倉敷

のべ参加者数
360名
ご参加ありがとうございました

R4年3月27日に
開催
しました！

支え合いと元気な地域づくりのヒントを凝縮した特別な一日

支え合いのまちづくりサミットIN倉敷は、地域共生社会の実現に向けて、住民も団体も専門家も企業も法人もみんなと一緒にできることを探して、協働の第一歩を考える場となりました。

サロン交流会×全市フォーラム×地区フォーラムの特色を含んだイベントを同時開催！

通いの場活動紹介 作品等展示



パネルで活動紹介をおこないました！

手づくり作品の展示



ニュースポーツ体験



各会場には、通いの場で制作された作品が並びました。プロ級と言っても過言ではない作品の数々は、人形、洋服、バッグ、小物、木彫など多岐にわたります。参加者からは「コロナで発表の場がない人たちも、今回のサミットで多くの人と出会えたことが何よりもうれしい」と言われていました。水島会場ではスポーツ推進委員の皆さんのご協力で、ニュースポーツのポッチャを体験しました。



通いの場相談コーナー

通いの場相談コーナーには、通いの場の新規立ち上げや、補助金の内容についてのご相談に、多くの方に来場いただきました。

全体基調講演

午後からは、玉島会場をメイン会場に、倉敷・水島・児島の4会場をオンラインでつなぎ、全体基調講演を実施しました。

「さまざまな支え合いのカタチ
～みんなちがってみんないい～」



サミットの基調講演と玉島会場の実践発表会のコーディネートをつとめていただいた、一般社団法人Wellbe Designの篠原辰二理事長

・「支え合うこと」は「よりよく生きること」。よりよく生きることを目指してお互いの違いを活かしていこう。
・誰もが持っている支え合いの「チカラ」を開放するためにまずは腹を割って話し合おう。
・一人ひとりができることとできないことは当然ある。支え合いの「合い」は力を合わせるという意味。たった一人の「できる」が大きな力になり地域にお互いさまの輪がひろがっていく。

・「支」という字が+×で作られていて、それぞれが地域の支え合いに必要な意味があることだと知りました！
・個人の健康と地域づくり「支え合い活動」が強く結びついていることを改めて感じました！

・支え合いの方法が「ちがっていい」と言ってもらい安心しました！
・今日のお話は小地域ケア会議でも広げていきたいと思いました！

みんなの声



地区分科会

支え合いのまちづくりサミット午後からの第2部は、4つの会場それぞれでテーマを決めて地域の特色ある支え合い活動の実践発表とパネルディスカッションを行いました。

倉敷会場

「共生社会の実現へ新たな気づきを新たな築きへ」

講師・進行役：社会福祉士 佐藤 伸隆氏

発表者：パントリー平田：植田 貴也氏・坂本健二氏

トーヨド支え合いネットワーク：古畑和三氏

NPO法人こうのさと：中村 聡良氏

【発表事例】

- ・フードシェア会を通してのつながりづくり
- ・団地で生まれた支え合い活動
- ・畑作業やマルシェを通じた子育て支援

参加者の声

・支え合いの新しい発想を発表から学びました。まずはやってみようという気持ちになりました！

水島会場

「多世代・多機関参画による担い手の活躍」

講師・進行役：倉敷市社会福祉協議会 松岡 武司

発表者：就労支援事業所irodori：佐藤 将一氏

おやカンパニー：松江 亜美氏

【発表事例】

- ・マスクづくりから始まった障がい者の就労支援事業所による生活支援サービスの活動
- ・子ども食堂と産前産後のお弁当配達取り組み

参加者の声

・障がいのある方、子育てママが地域で活躍している様子に感動しました！

児島会場

「子どもたちをみんなで支えるまちへ」

講師・進行役：川崎医療福祉大学講師 直島 克樹氏

発表者：大正橋子ども食堂：原田 香織氏

伊藤 幸汰氏

大正橋子ども食堂

【発表事例】

- ・子ども食堂やフードパントリー児島の活動と子ども食堂のこれから

参加者の声

・子ども食堂に対する解釈が変わりました。点と点の知識が線になり、活動の意欲がわきました！

玉島会場

「居場所から広がる地域づくり」

講師・進行役：一般社団法人Wellbe Design 理事長 篠原 辰二氏

発表者：TAMAYATAMASHIMA 齊藤 智美氏

天理教もたえのさと分教会 原田 義浩氏

チームオレンジちょこっと亭 白倉 公子氏

【発表事例】

- ・元婦人服店を活用した居場所づくり
- ・子ども食堂「あおぞら」の活動と困りごと支援
- ・自宅を開放した認知症支援の居場所づくり

参加者の声

・地域の居場所を開くことによってつながりや支え合いが広がる様子がよくわかりました！

地域支え合い活動事例集第二版『笑うまちには福来る』完成しました。

暮らしの主演である住民だからできる発想や方法を持ち寄りながら、同じ地域の一員である関係機関と連携することで生み出される「地域の宝物」は新たなつながりを紡ぎ、一人ひとりの幸せ（福祉）と笑顔あふれるまちづくりにつながっていきます。この「笑うまちには福来る」は、倉敷市内で宝物のように輝く各地区での支え合い活動をまとめた事例集です。活動から広がる支え合いの魅力と可能性を感じ取っていただき、元気な地域づくりの参考になれば幸いです。

生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)が事例集をお持ちし、直接ご紹介いたします！

是非、下記までご連絡ください。

問い合わせ先

倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課

倉敷市笹沖180番地 ☎086-434-3301

元気な地域づくりのヒント集

